

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	浜松市根洗学園			
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 25日		～	令和6年 11月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	91	(回答者数)	65
○従業者評価実施期間	令和6年10月25日		～	令和6年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月6日		～	令和6年12月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	20	(回答数)	20
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各分野（児童発達支援・教員・特別支援学校教員）の経験者が多い。	月に1回各担当利用時についての情報共有や、会議を行い、知識や専門性を高めている。	専門職（OT、ST、PT、保育士）の情報も取り入れながら支援に活かしていく。
2	保護者の要望を丁寧に聞き取って、支援をしている。	計画作成の面談以外にも、訪問前、「現在困っていること」「環境の変化」「前回からの成長点」を伺ってから訪問を実施している。	訪問先のニーズをより丁寧に聞き取りができるよう、時間を作っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人材育成	・児童発達支援事業への人材が必要になっている。そのため訪問の経験をする機会を定期的に作ることや研修が出来ない。	・訪問を研修として年間を通して計画して行く。
2	・人材不足	・児童発達支援事業についても人材が少ないため、訪問に人材を配置することが出来ない。	・法人ホームページやSNSを利用する。施設の様子や魅力などを発信して知ってもらう機会を作る。
3			